

第1回 SSH 講演会

土曜ALに代わり、昨年度から SSH 講演会を行うことになり、第1回目を7月8日(火)に実施しました。生徒の主体的な学習を支援する取組ですが、今回は生徒の探究的な学びや進路選択の一助となるような8つの講演を企画しました。今号では、その様子を紹介します。

- ① 講演名：「食品マーケティングとは何か？
—文理融合型のアプローチから—」

講 師： 明治大学農学部 中嶋 晋作 様

- ② 講演名：「日本の宇宙開発と JAXA の役割」

講 師： 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
原田 力 様



講演①の様子



講演②の様子

- ③ 講演名：「言葉を理解するコンピュータ
(人工知能入門)」

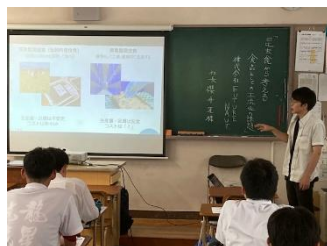
講 師： 群馬県立女子大学 神崎 享子 様

- ④ 講演名：「昆虫食から考える食品としての
主流化の課題」

講 師： ㈱ FUTURENAUT 社長 櫻井 蓮 様



講演③の様子



講演④の様子

- ⑤ 講演名：「水や空気の流れの不思議」

講 師： 前橋工科大学 梅津 剛 様

- ⑥ 講演名：「データサイエンス入門」

講 師： 共愛学園前橋国際大学
渡辺 晃輔 様



講演⑤の様子



講演⑥の様子

- ⑦ 講演名：「化学・生物学・物理学の交差点
：細胞の膜の話」

講 師： 群馬大学大学院理工学府
園山 正史 様

- ⑧ 講座名：「医療問題勉強会」 (キャリアメディカル)
内 容：生徒同士による医療問題の検討



講演⑦の様子



勉強会の様子

生徒の感想

- ・今回の講演はSSH探究活動にも使えるような、実用的なアンケート方法や調査方法学べたので意義のあるものであった。アンケート方法にもより多くの結果が得られるものがあることを知れたので、利用していきたい。
- ・今回の話を伺って、進路選択のひとつとして宇宙工学に視野を広げてみることも面白いと感じました。
- ・人工知能はどんなに発展しても、学習と推論が基礎になっていることを知れて、人工知能に対する解像度が上がった。
- ・まだ主流には届きにくい、昆虫食を進め、革新を進めようとする姿勢が目に焼き付いた。イノベーターは、確固とした姿勢で意見を考えることも必要なんだなとも感じた。
- ・身の回りの不思議について物理の観点で見ることができてとても楽しかった。
- ・今までは何気なく使っていた地図アプリなどに対する見方が変わった。今の世の中にあふれているデータは多くのことに活用されていると分かった。自分もデータをうまく活用できるようになりたいと思った。
- ・すべて理解することは難しい講演でしたが、理科の各分野の関係性に気づかせてもらいました。とても興味深い内容でした。
- ・みんな医学について主体性が見られ、なおかつ個人的な意見も持っていたため、自分も楽しく討論ができた。